

営農情報

第16号 令和3年6月25日
 JAみねのぶ営農販売課
 空知農業改良普及センター
 TEL:0126-67-2334
 FAX:0126-67-2803

幼穂形成期を確認しよう！！

～ 出穂期や成熟期を予測して防除や収穫に備えよう ～

○ 幼穂が入った「サイン」を見逃さない！

幼穂形成期に入ると、①葉色がさめる②幅広の長い葉が出る③茎の付け根が丸みを帯びる、など外観が変化します。

最も確実なのは、肉眼での観察です。主茎を4～5本取って縦割りにし、幼穂の長さを測定しましょう。

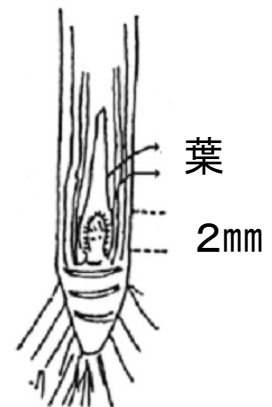
幼穂長の平均が2mmになった日が幼穂形成期です。

幼穂長と幼穂形成期後日数の目安

幼穂長(mm)	2.0	～	5.0	7.0	9.0
経過日数	当日	～	4日後	5日後	6日後

(5mmになっていれば幼穂形成期から4日経過している)

茎の断面



○ 幼穂形成期でわかる防除や収穫の目安

R3ななつぼし平年値(中苗と成苗の平均)より作成

幼穂形成期	止葉期	出穂始	出穂期	出穂揃	成熟期	収穫始
7/2	7/18	7/25	7/29	8/2	9/14	9/16
—	16日後	23日後	27日後	31日後	74日後	76日後

○ 幼穂形成期は「寒さから花粉を守る水管理」の始まり！

ワキが見られる場合には幼穂形成期の前に中干しを行います。

低温が予想される場合は幼穂形成期から10日間10cmの水深、その後10日間20cmの水深として幼穂を低温から保護します。

高温が予想される場合でも、急な低温に備え、一定の水深を保ちます。

茎数が不足する場合は、前歴期間の前半5日間だけ浅水とします。

